

神 shin 調 cyo 報 hou

2017
増刊号

2017 No.429



土地家屋調査士倫理綱領

1. 使命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

2. 公正

品位を保持し、公正な立場で
誠実に業務を行う。

3. 研鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

目次

役員就任挨拶	1
平成29年度 事業計画	8
支部長就任挨拶	10
政治連盟会長就任挨拶	16
新入会員・退会会員一覧	17
編集後記	20
会員異動	22

表紙

『第78回定時総会』

文・写真 小田広報部長

平成29年5月30日(火曜日)、横浜市中区のロイヤルホールヨコハマにて神奈川県土地家屋調査士会の第78回定時総会が開催されました。今回の定時総会は8年ぶりに会長選挙が行われ、400人超の会員が一堂に会し、盛大に開催されました。今回の神調報ではその場にて選任されました、鈴木会長と会長が選任しました副会長及びその後の理事会にて承認されました常任理事、各支部総会にて選任されました各支部長、神奈川県土地家屋調査士政治連盟 第17回定時大会にて選任されました政治連盟会長の就任挨拶を掲載しておりますので是非、ご一読ください。

会長の挨拶



定時総会で、会長に選任をいただいた、湘南第二支部の鈴木で御座います。これから2年間、神奈川県土地家屋調査士会の会長として、仕事をさせていただきます。どうぞ、よろしくお

願いいたします。

さて、私の基本的なスタンスですが、これは総会でも述べさせていただいた通り、「会員個々の考え方を大切にしたい。」ということです。何か一つ形を決めて、それを無理矢理、押しつけるのではなく、会員個々が多くの情報の中で、「自分で考え、自分で選択したことを自己の責任で行う。」そんな調査士会を理想といたします。

以下に、私の所信の一部を改めてご紹介し、ご挨拶とさせていただきます。

・会務における分掌の確認と事業の整理について

本会では過去4年間、いくつかの目標を集中的に、各部の事業をスクランブル体制で執行してまいりました。そこで、次の2年間は改めて業務分掌等を再確認した上で、バランスのとれた事業執行を目指し体制を整えます。事業における分掌の確認は、執行の効率化と責任の明確化につながると考えております。

・財務計画について

会費収入の減少予測を認識し、平成26年度に財務部が作成した「将来を見据えた財政全般の検討」を参考に、調査士会の事業が安定的に継続できるような財務運営を目指します。事業の拡大は、必然的に支出の増大につながります。会費値上げとしない財務運営を目標とし、私の任期中は、会費の値上げを行いません。

・研修事業全般について

この2年間で研修部等が行った、会員・一般研修会等の出席率向上策の成果を評価した上で、研修規則等を再度見直し、倫理を中心とした年次研修事業（入会年次別会員を対象とした定期的な研修）の企画や、業務に係わる基礎的な研修の実施を検討したいと考えます。また、昨年度県西支部が行った連合会eラーニングを

神奈川県土地家屋調査士会 会長 鈴木 貴志

使用した研修会に参加させていただき、ある種の可能性を感じました。本会が企画する研修でも利用できないか等検討したいと考えます。

研修事業については、土地家屋調査士の資質向上の根源につながることから、更なる事業の発展を目指します。

・広報事業全般について

広報事業では、制度広報の重要性を認識し、めまぐるしく変化する社会情勢を見ながら有効と思われる事業を取捨選択し、柔軟な対応を心掛けます。ただし、従来からの事業である神調報の発行等、活字媒体を利用した広報事業は継続し、各種相談会、広報掲示板等の事業についても、継続を前提に精査いたします。

・支部の再編成の模索について

各支部の状況は様々で、一部の支部では支部会員数の減少により、支部運営の負担が大きくなっているようです。各支部の現状をお聞きした上で、再編成の希望を持つ支部がある場合には、一部の支部再編成を模索したいと考えます。

・土地家屋調査士法第25条第2項に係わる対応について

土地家屋調査士法第25条第2項に規定される「調査士は、その業務を行う地域における土地の筆界を明らかにするための方法に関する慣習その他の調査士の業務についての知識を深めるよう努めなければならない。」に関する事業として、神奈川県特有の「二線引き畦畔」に係わる諸問題について、取り組みたいと思います。かなりハードルの高い案件で、結果を出すことは難しいかもしれませんが、一般市民にとっても我々土地家屋調査士にとっても重要な課題です。まずは、法務局への対応を中心に取り組みます。

また、その他として、「世代交代と事務所の引き継ぎについて」、「土地家屋調査士の後継者育成について」、「本会内部の人材育成について」、「他団体との交流と情報の収集について」等、考えております。

最後となりますが、これから2年間、皆様のご協力をお願いいたします。重ねてとなりますが、よろしく願いいたします。

副会長の挨拶



第78回定時総会において、鈴木会長より副会長に指名いただき総会において、会員の皆様にご承認いただき

ました、横浜中支部の成田でございます。宜しくお願いたします。

9年前、関会長の総務財務担当副会長を全身全霊で務めさせていただき、やっと会務を終了し、次の世代にバトンタッチできたと思っておりましたら、副会長をまた拝命することになりました。出戻りです。

この度は、年功序列により第一順位の副会長として、広報部及び研修部を担当させていただくことになりました。

前回総務部長及び副会長を務めさせていただいたときは、不動産登記法改正の嵐が吹いておりまして、会長、副会長、常任、理事及び会員の皆様とバラ色の日々を過ごさせていただきました。また、境界問題相談センターでは、センター長として認証に向けて、弁護士委員及び調査士委員の皆様のご協力のもと認証手続きを進めさせていただきました。皆様には言葉に表せないほどの感謝をしております。

さて、本年度広報部事業計画及び研修部事業計画にもとづき、状況の変化が著しい昨今であ

神奈川県土地家屋調査士会 副会長 成田 哲雄

りますが、会員の皆様、小田広報部長、広報部理事、佐川研修部長及び研修部理事のご協力をいただき一生懸命に務めさせていただきます。

また、先に前回理事者の時の業務内容を記載しましたが、私一人では何の能力もありません。いつも皆様にご協力をいただき務めさせていただきました。

鈴木会長の総会でのお言葉にもありましたように、明るい調査士、明るい調査士会を目指して、鈴木会長を補佐させていただきたいと思えます。

広報部及び研修部並びに執行部として、会員の皆様にはご協力いただくことが沢山あると思えます。一緒に頑張りましょう。宜しくお願いたします。

副会長の挨拶



第78回定時総会において鈴木貴志会長より副会長に指名されました川崎支部の大竹正晃です。総務部と財務部を担当いたします。

平成9年に神奈川会へ入会し、支部幹事や支部広報員を頑張っている頃は若手と呼ばれていました。その後、境界鑑定委員会・筆界特定制度推進委員会を無我夢中で頑張っていました。が、いつの頃からか若手と呼ばれなくなり、気が付けば登録して20年経っていました。しかしながら、平成28年度土地家屋調査士試験合格者の平均年齢は40歳であることから、48歳の私はまだまだ若手であると思っています。4年前に岩倉弘和前会長の指名により総務部長として2期4年務めさせていただきました。総務部長の折は、岩倉会長はじめ副会長・部長・次長・理事・会員の皆様には数々のご指導を賜り、土地家屋調査士として改めて勉強させていただくことばかりで、心より感謝申し上げる次第です。

今年度、副会長という重責ではありますが、精一杯尽力させていただきたいと思えます。事業計画に基き、粛々と、迅速に、的確に会務運営を行うべく役員一丸となって執行してまいります。

法務省では、相続登記が未了のまま放置されている不動産の増加に伴い、いわゆる所有者不

明土地の問題や空き家問題の解決手段の一つとして「法定相続情報証明制度」の運用が平成29年5月29日から始まりまし

た。土地家屋調査士においても相続登記未了である不動産の業務処理に非常に苦勞する案件が増加してきました。土地家屋調査士の業務として登記所への申出の推進も考えていかなければならず、常に変化する時代に対応することが必要不可欠です。

また、連合会ではオンラインによる不動産の表示に関する登記申請の利用を更に促進するとともに、法定添付情報の原本提示省略等の運用改善を目指し働きかけを行っております。他にも所有者の所在の把握が困難な土地に対し、筆界特定制度の枠組みの中で対処出来るように働きかけも行っています。これらは土地家屋調査士の国民に対する責任が益々重くなりますが、国民からの信頼を得ることに繋がります。

一部の職責を全うせず補助者任せや名義貸しを行い、調査士制度の信頼を失墜させる会員に対しては厳しく対処する必要があります。

現在、土地家屋調査士の抱える諸問題は挙げればきりがありませんが、それらに対して一つ一つ諦めずに対応していくためには、会員各位の協力なくては成り立ちません。改めて皆様のご協力お願い申し上げます。

副会長の挨拶



横浜東支部の西田貴磨です。業務部・相談センター担当の副会長を務めることとなりました。

前期は財務部に所属していました。非常に優秀な部長の陰に隠れ惰眠を貪っておりましたが、さすがにもうそんなことは許されない役目に指名いただいたと自覚しています。

調査士会が担う役割、それには様々なものがありますが、調査士自身のための活動と、それ以外の方のための活動とに分けられ、それらの活動はさらに細分化していきます。調査士自身の能力を高めるための活動、調査士のよりよい業務環境を獲得するための活動、これが前者です。

一方、後者においては、一般の方にとってお役に立つはずの調査士業務を広報する活動も含まれるでしょうし、逆に調査士の粗略な業務により種々の損害を被った一般の方への対応も重要な活動と考えます。

これらの活動の原資は会員のみなさんが納める会費ですから、直接的であろうと間接的であろうと、会員のみなさんにとって意味のある活動でなくてはなりません。特に私が担当することとなった業務部は、みなさんの仕事の在り方、報酬に至るまで密接にかかわります。調査士が健全な業務を行い、正当な報酬をいただくためには、ひとりの調査士である私だったらこうあってほしい、と望む環境づくりが、業務部に携わる者の責務と考えています。

神奈川県土地家屋調査士会 副会長 西田 貴磨

他方、私が長くかかわってきた境界問題相談センターかながわは、まったく性格が異なります。センターは境界の問題で悩む一般の方のために設立されました。センターの運営には、お客様からいただく手数料のみでなく、みなさんの会費も使われています。みなさんの会費が、みなさん以外の方のために使われているのです。

センターで行う業務は、相談と調停というサービスを提供することですが、そこにかかわった相談員、調停員の方であれば、境界問題で悩むお客様にとって調査士という存在がどれほど頼りになる存在となるかご存じでしょう。高度な知識を有し、かつ十分な経験を積んだ調査士は、こと境界の問題に関して他者の追従を許すものではありません。

ところで、境界問題に悩む存在というのは一般の方だけなのでしょうか。我々調査士もお客様を通して境界問題で悩んでいませんか？ センターはみなさんのものですから、もちろんみなさんに使っていただいて構わないのです。みなさんが悩む境界問題は、調査士であれば皆共感できる悩みです。一緒に悩み、解決の方法を共に考えましょう。

このように、調査士のためを考えて活動する業務部と、一般の方のお役に立つために活動するセンターとを有機的に結びつけるのが、私の最終的な責務と考えています。と、珍しくまじめに書いてみました。2年間お付き合いください。

部長から就任挨拶

総務部長 市川 栄二

このたびの役員改選で、大竹副会長から総務部長の任を引き継ぐ形での就任となりました、県西支部・小田原の市川と申します。新任のご挨拶を申し上げます。



総務部次長として4年間、前任者を近くで見て参りましたが、会務をこなしつつPTA会長をし、土日はお子さんの野球につきあい、平日はゴルフの練習をかかさないと朝ドラのチェックも怠らない等、この人はいつ自分の仕事をしているのだろうと不思議に思うほどの働きぶりで、正直、時間の使い方としては全く参考になりませんでした(笑)。ただ、仕事に、会務に、家族に、地域に、趣味に、それぞれに誠実に向き合う姿勢と、その姿勢が周囲にもたらす効果については、おおいに参考とさせていただこうと思っています。

総務部長を受けるにあたり、何か特別にこれがやりたいという思いがあるわけではありません。自分自身が、人見知りで、適当で、サボリ癖があって、忘れっぽい人間であることは十分承知しています。人間力としては前任者と比べるべくもありません。ただ、かように弱い自分ではありますが、大役を任せていただいた、鈴木会長を始めとする方々の気持ちを裏切ることはするまいと決意しました。会長が選挙前

に言われた「明るく、楽しくやろう。」をモットーに、役員のみならず会員の皆さんのお力添えを得ながら務めていきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

財務部長 小西 行長

この度、財務部長を拝命しました。本会理事は初めてであり、分からない事が多いのですが、会員のお役に立てる様、誠心誠意勤めていきたいと思っております。



これまででは支部の中で活動する事が多く、前職は支部会計担当の副支部長でした。恐らく支部での会計経験者という事で今回の担当が回ってきたのでは、と考えております。支部での予算規模に比べて本会の予算規模は約2億円と大変大きな金額になります。この予算を大事に取り扱い、会長、副会長、理事各位と適切に予算運営していくのが、財務部の役目だと思っております。また、このような大規模な予算運営をこれまでつつがなくされてきたこれまでの担当の方、事務局の方には改めて敬意を払いたいと思います。前職の支部会計の時に支部運営費の支払いのお願いをしていた時に、改めて会員から会費を集める意味を実感しました。いうまでもなく本会予算は会員の皆様が汗水かいて働いて得た報酬から集めた会費で成り立っています。

その意味を踏まえて予算は効率よく、無駄のないように執行していかなければなりません。任期中は、各理事の皆様と協力し、とにかく無事に予算を運営出来るよう頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

業務部長 小笠原 裕

この度、鈴木会長より指名を受け業務部長に就任いたしました横浜南支部の小笠原裕です。よろしくお願いいたします。



理事は支部推薦として研修部に一期二年の経験で、その時積極的に参加したかという疑問符が付くかもしれません。しかし、気持ちを新たに、地道ではありますが、邁進してまいりたいと思っております。

また、関係諸官庁との打合せ・協議については、運営に携わった境界問題相談センターかながわでの経験と研修等で得た知識を生かしバランスの取れた対応を考えております。そのためややもすると調停・調和型になるおそれがあるかもしれませんが、バランス感覚だけでは会員のためになりませんので、提案すべき事はしっかりと提案し、よりよき方向に進むよう努力していきます。

まずは、業務部理事と共に前期業務部からの引き継ぎ事項を継続案件として取り組み、さらに新規事業も検討しながら、会員の皆様のために取り組んでまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

広報部長 小田 靖

この度、第78回定時総会後の理事会において広報部長を拝命いたしました、県西支部の小田靖です。



前期は広報部理事として、その前は県西支部広報員として活動してきましたので、会務は広報の事しか知らない未熟者でございます。しかしながら拝命したからには全力で会務に励んでいく所存です。

昨今、広報部の活動としては内向きの広報というより、外向きに土地家屋調査士という資格名称の制度広報に重点を置いています。これは非常に重要なことだと捉え、引き続き国民に土地家屋調査士という資格が広く認知されるよう活動していきます。神奈川県土地家屋調査士政治連盟、制度対策特別委員会、空家等対策特別措置法特別委員会の役員及び委員各位に協力していただき、また、広報部として出来る限り協力し、政治・行政に総会にて承認された事業計画が達成できるよう働きかけをおこなってまいります。また、新たに効果的な広報ツールの発案に努めてまいります。

私は今回の理事会構成員の中で最年少ですので、上記の行動を自分一人ではできるとはまったく思っておりません。会務・業務経験豊富な理事会構成員の方々に相談・意見を求め支えてもらいながら職責に当たりたいと思います。会員各位におかれましても協力してもらおう事が多々あるかと思いますが2年間、どうぞよろしくお願いいたします。

1点付け加えて申し上げておきたいことがあります。私は、生来緊張しやすいタイプの間

で人前に立つと赤面し手が震えてしまいます。次年度総会の折、広報部の事業計画発表時に同様の現象が起きると思いますが、酒を飲んで発言しているわけじゃないのでつつ込みを入れないうち承知おきください。よろしくお祈いします。

研修部長 佐川 祐介

研修部長を務めるのは、4期目となりました。とはいえ、前期は、広報事業と境界問題相談センターかな



がわを担当する副会長でしたから、2年間のブランクがあります。しかも、今期は、十分な引き継ぎの余裕もない状態での始動でしたから、総会の翌日から途端にめまぐるしくなりました。こんなとき、かつて手掛けた研修ライブラリーと研修会の開催に係わる資料をすべて文書化して保存する体制の構築が役に立ちました。

今期研修部に配属された理事には、前期に担当していた者が一人もおりません。10年前、初めて研修部理事に就任したときが、当時の部長も含め、まさにそうでした。しかしながら、こういった事態は、役員改選期には、いつでも起こり得ることです。幸いにして、研修部では、この5期10年間は、前期の次長が次期の部長を務めるなどして命脈を保つことができましたが、今期は、全員総入れ替えのスタートとなりました。

役員改選の任期は1期2年ですが、土地家屋調査士会の事業は、毎年の定時総会で承認された事業計画や予算に基づいて執行される、いわゆる

単年度事業です。その一方で、事業年度や役員改選にかかわらず、毎年度継続して行っているかなければならない事業もあります。今期研修部長となった私の最大の課題のひとつは、これまでの研修事業で培ってきたものを、いかにして次へ伝えるかであると思っています。もちろん、すぐにでも対応しなければならない課題は、目白押しです。われわれ土地家屋調査士とその制度を取り巻く社会情勢は、これからも時々刻々と変化していくでしょう。ですから、これまで築かれてきたものをただ単に守り続けるということでは、決してありません。ですが、その一方で、これらの根底には、大切に守り続けなければならないものも、やはり存在するのだという確かな思いもあります。

それは何かといえば、およそ土地家屋調査士会の事業は、土地家屋調査士とその制度の維持・発展のためにあるといっても過言ではありませんが、それは別の側面からみれば、これらを利用し、または、利用しようとする国民に対し、その職能が必要とされ、信頼されるに値するものであり続けるための活動であるともいえ、その活動の一端を担うことへの自負と責任感ではないかと思うのです。

以前と比べれば、体力や気力に、多少の衰えを感じ始めざるを得ない年齢にもなってきました。そこは、研修部理事及び研修運営委員をはじめとする皆様の御尽力にも頼りながら、今期2年間の務めを果たしていきたいと思ひます。どうかよろしくお祈いいたします。

平成29年度事業計画

土地家屋調査士が法と技術の専門士業として磐石の地位を築けるよう、これまでその礎として内なる強化をおこない、また、会員の業務環境を良くするための事業をおこなってまいりました。

研修受講率の向上をはかり、また非違行為対策、政治連盟との連携による嘱託業務の最低制限価格の導入の働きかけ、ダンピングをなくすための取り組み、空家等対策、災害協定等社会的事業を通じての行政への制度広報等々、着実に成果を得つつ進めてまいりました。これらの事業をすすめる中で、本会与支部、さらに他会・他士業との連携を今まで以上に深めてきました。

これらの事業がわれわれの希望とする成果に辿り着くために、一層の尽力と工夫をもって強化継続事業としておこない、次の段階に歩を進めるために事業を検討、実行いたします。

また、後継者育成などの対応のためにも会員の財政状況が向上するための方策、試験受験者が増加するための方策もおこないたいと思います。

研修部門については、倫理を中心とした年次研修事業（入会年次別会員を対象とした定期的な研修）の企画を新たに加え、さらなる研修受講促進を検討いたします。

広報部門については、制度広報事業としての外向けの活動に重点を置きたいと思います。「境界問題相談センターかながわ」については、運営委員会のサポートはもとより、主体性をもって関わり、会員との距離を縮めます。また、多くの市民のみなさまに認知される努力をします。

財務部門については、平成26年度に作成した「将来を見据えた財政全般の検討」を参考に、調査士会の事業が安定的に継続できるよう、こ

の先の情勢に対応できる財務運営を目指します。

総務部

1. 会務運営の効率化
2. 会員の執務指導
3. 法務局及び他調査士会、関係団体等との連携

財務部

1. 入会金及び会費の徴収並びに支出の効率化と管理
2. 経理に係わる事務の整備
3. 中期的な会館修繕・設備計画の検討
4. 福利厚生事業の実施と内容の検討

業務部

1. 調査士業務に関する指導及び連絡
2. 適正なる業務処理の推進
3. 地図等の収集及び公開についての検討
4. 筆界特定に関する連絡協議

広報部

1. 行政等への空家等対策に関する活動と、災害時協力協定の締結活動の継続
2. ポスターの作成など効果的な制度広報活動の調査検討
3. 会報誌の発行

研修部

1. 受講義務のある研修会の拡充と受講の促進
2. 各種研修に関する情報収集と研修環境及びプログラムの整備
3. 認定調査士・境界鑑定に関連する研修会の見直しと拡充
4. 研修に関する情報公開の見直しと拡充

新役員一覧表

役員名	担務	氏名	所属支部	役員名	担務	氏名	所属支部
会 長		鈴木 貴志	湘南第二支部	理 事	財 務	旭 啓吾	横浜北支部
副 会 長	広報・研修	成田 哲雄	横浜中支部	理 事	業 務	石垣 博	湘南第一支部
副 会 長	総務・財務	大竹 正晃	川崎支部	理 事	業 務	高橋 信之	横浜東支部
副 会 長	業務・センター	西田 貴麿	横浜東支部	理 事	業 務	河 光成	横浜東支部
常任理事	総 務	市川 栄二	県西支部	理 事	広 報	上田 尚彦	横浜中支部
常任理事	財 務	小西 行長	川崎支部	理 事	広 報	平田 義昭	横須賀支部
常任理事	業 務	小笠原 裕	横浜南支部	理 事	広 報	中川 淳	大和支部
常任理事	広 報	小田 靖	県西支部	理 事	研 修	榎本 一成	横須賀支部
常任理事	研 修	佐川 祐介	横須賀支部	理 事	研 修	小川 城雄	横浜中支部
理 事	総 務	尾上 雄一郎	湘南第一支部	理 事	研 修	小橋 創	相模原支部
理 事	総 務	丸山 彰	横浜南支部	監 事		福本 正幸	横浜南支部
理 事	総 務	竹前 信行	湘南第二支部	監 事		山田 哲夫	川崎支部
理 事	総 務	天野 和広	県央支部	監 事		石川 公章	横須賀支部

新支部長一覧表

役員名	所属支部	氏名
支 部 長	横浜中支部	中森 芳宏
支 部 長	横浜南支部	小瀧 孝幸
支 部 長	横浜東支部	藤橋 俊之
支 部 長	横浜北支部	志田 研哉
支 部 長	川崎支部	有野 拓美
支 部 長	横須賀支部	大野 正人
支 部 長	湘南第一支部	小川 明洋
支 部 長	湘南第二支部	高橋 真人
支 部 長	相模原支部	朝里 孝浩
支 部 長	県央支部	播磨 誠司
支 部 長	大和支部	三浦 仁
支 部 長	県西支部	力石 高志

支部長から就任挨拶

横浜中支部長 中森 芳宏

まさか、今年も「支部長からの就任挨拶」を考える日がくるなんて……………

この度、第21回 横浜中支部総会において、二期目の支部長就任となりました中森芳宏です。

1期2年を終え、たいへん貴重な経験をさせていただきました。また、役員を始め多くの会員からのご指導に厚く御礼申し上げます。

当支部は、会員数100名を超える支部であります。ただ、会員数が多いがゆえの居心地良さが有り、支部活動に無関心になりがちな問題も含んでいるように思われます。

今期は、役員総力を挙げて会員皆様に関心を抱いてもらえるような支部活動の取り組みを鋭意努力していく所存であります。加えて、支部役員の新規加入にも力を注ぎたいと思っております。

やはり、30代、40代、ギリギリ50代の会員が中心となってこそ、横浜中支部の活性化に繋がるのではないのでしょうか？ どの世界にも、世代交代は必要不可欠であり避けて通ることはできません。

横浜中支部という横浜市代表支部としての存続を維持する為に、真剣に考えなければならぬ時期に入ってきております。

そういう時期に、支部長就任として挨拶文を



思案する機会を与えてもらった事に感謝しつつ、「中支部ファースト」を肝に命じて邁進していきます。

横浜南支部長 小瀧 孝幸

この度、横浜南支部総会におきまして支部長に選任されました小瀧孝幸と申します。

内気な性格もあり登録後

6年間はほとんど支部の行事にも参加せずにおりましたが、実にさりげなくお誘いいただいた大先輩並びに当時の支部長様のおかげで7年目から支部役員に加わらせていただきました。以後12年間続けた支部役員の経験を通じて大変幅広く多くの知識・情報を取得することができ、又徐々に増えていった他役員の皆様との交流のおかげにより何とかここまで成長することができたと思っております。大先輩並びに当時の支部長様そして歴代の支部長様他役員の皆様方には心から感謝を申し上げる次第です。

支部には新しい会員が増えました。又かつての私同様なかなか行事でもお会いできない会員も少なからずいらっしゃいます。大先輩と同じようなことが私にもできれば理想なのですがまだまだその境地には到達できそうもありません。しかしせめてきっかけとなる仕組みくらいは知恵を絞って作るのが私の選ばれた使命と考え、



役員編成はできるだけその新しい会員の方々を中心にベテラン役員がサポートするという体制をとらせていただきました。大変僭越ではありますが新しい方々には少しでも永く役員を担っていただきご自身の成長の糧にさせていただければと願っております。又、日頃なかなかお会いできない会員の皆様には少しでも参加していただけるような行事を心がけて支部運営を進めていきたいと思っておりますので皆様のご指導、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

横浜東支部長 藤橋 俊之

私は、以前より土地家屋調査士の受験校からの依頼で、書式の練習問題を作成しています。入会当初はあまり仕事もなく、1年間に200問作成（簡単な初級の練習問題を少し変更したものも含む）したこともありましたが、入会から25年以上になり仕事もそれなりに増えましたので、今では年間6問程度しか作成できなくなりました。

昨今の法改正により土地家屋調査士の業務内容が少しずつ変化して、書式問題の中味も相応して難しくなっています。自分が持っている従来からの知識と現場の経験だけでは、シャープな問題を作成することに多くの時間を費やすようになってしまいました。抱えている仕事の納期と原稿の締め切りが重なった時などは、あちこちに頭を下げ、時間をやりくりし、大変な思いで問題作成をしています。

もういい加減にお断りしようと何度も思っているのですが、自分の知識の維持や先生方との



人間関係上、つい続けてしまっています。

この状況において支部長を引き受けることは、会員の方に迷惑をかけるのではないかと甚だ不安ではありますが、他の支部長の方々そして当支部の副支部長の方々の助けを借りながら「日々新たに」という心掛けをもって2年間頑張ってみようと思っています。よろしく願いいたします。

横浜北支部長 志田 研哉

憚りながらこのたび、横浜北支部の支部長の任を拝命いたしました志田研哉と申します。



前支部長の旭先生のもと6年間、幹事、副支部長として支部の活動をお手伝いしてきました。幸いにも、ほとんどの役員がそのまま役に残ってくれることになりました。ベテラン、若手の調和のとれたメンバーです。頼もしい。とても頼りにしております。

私ごとながら、今年で登録20年になりました。平成9年の4月に入会しまして、5月の北支部総会に出席しました。その当時、北支部の支部長は中村隆先生で、神奈川会の会長は椎橋浩先生の時代でした。思い出してみますと、総会での会長・支部長のスマートな挨拶、立ち居振る舞いを見たときにお二人の威厳、風格を感じるものがありました。

時が経ち、齢だけは重ねてきましたが如何せん如何ともしがたい状況の自分を真に遺憾に思います。

いかん・いかん。新支部長の寄稿文は、これではいかんのです。

改めまして、横浜北支部の新支部長として、支部役員と協力して本会・支部・会員との潤滑油なり、以て事に当たる所存にございます。皆様、宜しく願いいたします。

嗚呼、時が経つのは早いの一・一・一・一・一。

五月雨や 昭和は 遠くなりけり

平成29年6月19日 月曜日 快晴

川崎支部長 有野 拓美

この度、川崎支部長に就任いたしました有野と申します。

支部会員98名、年齢層も幅広く支部も過渡期にあるように感じます。

しかし先輩調査士が作り守られた60年以上の歴史と気風を、「安定と融和」を旗印に、次の世代に引き継ぐためにも「楽しかった支部役員時代」となるよう会員皆様とともに支部運営に努めたいと思います。

2年間どうぞよろしく願いいたします。



横須賀支部長 大野 正人

平成27年5月に支部長に就任して、今期で2期目になります。引き続きよろしく願いいたします。

私は、支部長に就任するまで支部の役員経験がほとんどなく、また、本会あるいは支部の総会、研修会等にもあまり出席しませんでした。いわゆる顔の見えない調査士でした。

そんな私に、前支部長から支部長就任のお声

がかかりました。かなり迷いましたが、人生も終盤にさしかかり、いつまで土地家屋調査士業務を続けられるかわからないと感じ始めて始めていたので、土地家屋調査士会及び会員の皆様から受けてきた大きな恩恵に、少しでも恩返しするのは今しかないと思い、引き受けることを決断いたしました。しかし、支部の行事にほとんど出席してこなかった私にとって、この2年間は、何をどうしたらいいのか全く分からない暗中模索の日々でした。なんとか2年間を乗り越えられましたのは、ひとえに横須賀支部役員及び会員の皆様、また、他支部の支部長の皆様の温かいご助言、ご協力があったからこそと、痛感しております。本当にありがとうございました。

今まで他の土地家屋調査士とあまり付き合いのなかった私ですが、支部長に就任してからは、いろいろな人との交流を通じていろいろな情報を得られ、世界が大きく広がり、自身の業務にも非常に役立っております。

今、土地家屋調査士制度の存続の危機が叫ばれております。前期の2年間で支部の通常行事、業務の概略を把握いたしましたので、今期2年間は、本会と協力しながら、土地家屋調査士制度の存続のために非違行為対策、広報、研修等に力を入れていきたいと考えております。



湘南第一支部長 小川 明洋

この度、湘南第一支部支部長に選任されました小川明洋です。



父が茅ヶ崎に土地家屋調査士調査士事務所を開いてから37年。私が調査士会に登録してから19年、ずっと湘南第一支部に所属して、茅ヶ崎で仕事をさせていただき今日まで暮らしてきました。父は亡くなり、私が入会した時にお世話になった先輩方もいつの間にか顔を見なくなり、自分もいつしかベテランと呼ばれるようになっていました。いつの頃からか「次はお前だ！」の雰囲気が出来上がり、自分自身も支部とこの地域に恩返しすべき時が来た、と思い支部長を引き受けました。

私は公嘱協会茅ヶ崎地区の地区長を長い間務めてきましたが、その中で感じたのは組織の良し悪しは会員一人一人の意識次第だという事です。支部活性化のために前支部長さんが頑張ってくれましたが、まだまだ会務に無関心な会員が見受けられるし、お金も無い。

でも全てのみ込んで引き受けましょう。どこまでできるか分かりません。知恵を絞りましょう。任期が終わった時に今より、ほんのちょっとホンワカした雰囲気になっていれば良いなと思っています。

私は土地に関しては茅ヶ崎市内でしか仕事をしない内弁慶調査士です。ですから他の市町村の事はあまり知りません。しかし、幸いにも有能な後輩達が快く役員を引き受けてくれ、前支部長、前会長さんも相談役に就いていただきました。2年間誠意をもって支部運営に取り組むつもりです。どうぞよろしく願いいたします。

湘南第二支部長 高橋 真人

本年度、湘南第二支部総会において支部長として二期目の選任をされた高橋真人です。



一期目は支部会員間の交流を深める事が支部として役割の一つであると考え研修会、レクリエーション等において出席率にこだわりました。支部会員の皆様には出席率にこだわります、と宣言した中、支部役員の協力を得て、なんとか数字的には及第点に届いたと感じております。しかしながら内容的には充分でなかったとも感じています。企画の内容に関してご指摘を受ける事も度々ありました。なるほど、と思う意見。そんなに無理言わないで、と思う意見もありました。ただ、一番嬉しかったのは会員の皆様が意見を直接伝えてくれた事です。勝手な解釈かもしれませんが期待感の表れと受け止めております。

これより二期目に入り、今までと同様に出席率にこだわっていきたくは思っておりますが、加えてベテラン先生方からキャリアの浅い会員への技術の伝承や会員同士の情報の共有化が出来る環境を作って行きたいと考えています。そして支部の集まりが支部会員の皆様にとって、息抜きが出来る場所となったら幸いです。

2年間支部役員と力をあわせ、支部のさらなる活性化に取り組んで行きたいと思っておりますので、引き続きご指導宜しく願いいたします。

相模原支部長 朝里 孝浩

この度、相模原支部長に就任いたしました朝里孝浩と申します。



二年間、微力ながら一所懸命に努めたいと考えています。相模原支部は先輩方の指導の下、まとまりがいい支部だと感じています。

旅行や親睦会・研修会を通して、さらに支部会員間の風通しが良くなればと願っています。

また、支部長会議等を通して他支部の方々とお話しができるのを楽しみにしています。

趣味の磯釣りは、釣れなくても辛抱強く竿を垂れている私ですが、支部長としてもこの粘りを発揮できるよう、がんばっていきたいと思います。磯釣りに興味のある方は、ぜひ声をかけて下さい。

今後とも、宜しく願い申し上げます。

県央支部長 播磨 誠司

今年度より県央支部長に就任致しました播磨誠司と申します。



他支部の支部長にまだお会いしておりませんので、支部長の年齢層は判りませんが、おそらく若輩の部類に入ると思います。

今回、県央支部役員は私を含め、主に40歳前後の若い？会員で構成しております。

この年齢構成が意味するところは、色々あると思われませんが、諸先輩方が若い力に期待していると前向きに捉え頑張る所存です。

私の略歴ですが、大学卒業後、約4年間営業マンをしておりましたが、技術を身につけたく測量専門学校に通い、測量コンサルタントに就職し3年間主に公共測量に従事しておりました。その後、資格取得し直ぐに開業した為、補助者経験ゼロでのスタートとなり、今思うと恐ろしいと思いますし、当然、書類の作成方法等まったく判らず、知り合いの方に聞く事も出来ず、納期に追われ、徹夜しながら実務マニュアル、インターネットでの調査に明け暮れ、最終手段として登記所に相談を行っておりました。

現在は気軽に聞ける仲間も出来、精神的に楽になりました、それは支部役員業務を通じ人間関係を構築できたおかげだと感じております。

私の個人的見解ですが、会員あつての支部であり、支部あつての会であると考えております。故に県央支部では、まず第1に会員同士の交流を深める事が出来ればと考えており、その事が、知識の向上及び社会性・人間性の発展に繋がると考えております。

これより2年間宜しく願いいたします。

大和支部長 三浦 仁

大和支部第45回定時総会におきまして支部長に選任されました三浦 仁と申します。昨年の10月に岸本前支部長が他界され、それから半年間、支部長代行を務めさせていただきました。岸本支部長は、仕事一筋の生真面目な方でしたが、志し半ばで退会となってしまい、大変残念ではございますが、この紙面をお借りしまして、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、大和支部は昭和48年に県央支部から相模川を隔てて分離した支部で、一時は支部会員数が65名を超えていたこともありましたが、現在は41名と、少人数になっております。管轄法務局は大和出張所で、大和市、座間市、海老名市、綾瀬市の4市に跨っており、他の支部とは少々勝手が違います。嘱託事件につきましても4市4様の状況です。

思い起こせば平成3年4月10日に入会以来、実に26年を経過しておりますが、その間、表示登記適正処理委員、綱紀委員、筆界調査委員、調査士試験委員等、様々な委員を仰せつかり、正直、支部の運営には一切関わって来ませんでした。そのため、わからないことだらけで、支部役員の皆さんのお力をお借りし、一生懸命努めて参りたいと思います。



県西支部長 力石 高志

この度、平成29年5月21日の県西支部総会において支部長を拝命いたしました力石高志です。平成8年に調査士登録し21年間湯河原町にて開業しております。

当時は小田原に支局があり、登記簿の閲覧、登記申請等で支局へ行けば諸先輩たちとお会いすることもあり、顔を知っていただく機会も多かったように思います。近年オンライン申請、登記情報サービスの活用と支部の皆様とも顔を会わすことも少なくなりましたが、研修・旅行・総会などの機会を活用し小さな支部（支部エリアは広いですが）として特徴ある活動が出来ればと思っています。当支部では他業種との活動も行われており弁護士会とは年2回の予定で合同研修を開催しています。6月に行った研修では活発な意見交換も行われ、懇親会でも色々な実りある会話が出来ました。8月にはオンライン申請に関する研修を予定していますのでご期待ください。

我々調査士を取り巻く環境が大きく変わってきています。それに対応していくのは大変なことですが、支部として会員を如何にサポートしていくか役員で話し合い、活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



政治連盟会長就任の挨拶

神奈川県土地家屋調査士政治連盟 会長 上田 尚彦



今期より政治連盟会長を拝命させていただくことになりました上田尚彦です。何卒よろしくお願ひいたします。

われわれ土地家屋調査士が業務を行うにあたり、その根本にあるのは不動産登記法と土地家屋調査士法です。さらに各地方公共団体が制定する条例です。それらを審議、制定、改正、廃止するのは国会議員、地方議会議員のみなさんです。議員の人達に登記制度、境界問題に関して活発に議会で議論してもらうことができれば、よりよき制度・市民サービスの提供が可能になると思います。

逆に、土地家屋調査士の業務に関してあまり知識や理解がなかったら、不本意な制度に改悪され、場合によっては制度そのものが廃止されてしまう危機さえあり得ます。その議員の人達に土地家屋調査士の制度や能力を理解してもらっているのでしょうか？前期に副会長を拝命して以来、福本会長の承認と付託を受け、新規の分野として空家等対策、災害協定の活動を推進してまいりました。その活動を始めた当初、ごくごく限られた一部の人にだけにしか土地家屋調査士の資格を認識されていませんでした。

空家対策、災害対策をテーマに多くの議員のみなさまに土地家屋調査士の立場を超えた政策提案を積極的に行っていくうちに、空き家や災害に関する問い合わせを多く頂戴するようになりました。国会をはじめ各議会でわれわれの提案したことを質問してくれる議員の方が沢山で

てくるようになりました。

しかしまだまだです。今後、さらに各自治体、各議員のみなさんから「現場力のある資格」「政策策定に頼りになる資格」と認識していただけるようになれば、今までなかなか実現できていなかった要望も道が開けてくることになると思います。

今期、政治連盟会長を拝命するにあたりまして、上記会長時代の活動をさらに力強く推進するとともに、政治連盟の活動が会員のみなさんに知ってもらえるように広報活動にも力をいれます。今まで、県議会議員だけを対象としていた予算要望ヒアリングを大きく拡大し、各市町村議員とのヒアリング・勉強会の実施を目指します。

副幹事長を拝命した時から他資格政治連盟の役員の皆様と懇親を深めてまいりました。それをさらに一歩すすめて共同して政策提案をできるように目指します。

議員のみなさまに、より一層われわれの存在を知っていただくため、議員のみなさんと会員のみなさまの懇親を深めるため、昨年度開催した賀詞交歓会を継続して実施したいと思ひます。

政治連盟結成して以来、20年弱です。まだまだ道半ばで、苦難も多くあると思ひます。今日まで政治連盟活動に努力されてこられた諸先輩のみなさまの意思と事業をしっかりと継承しつつ、さらなる発展を期して努力する所存です。まだまだ至らないことが多い私ですが何卒忌憚なくご指導ご鞭撻をお願いいたします。

新入会員紹介

(H28.12月20日入会～)



横浜北支部
登録番号 3053
タカハシ ユウヤ
高橋 祐矢



湘南第二支部
登録番号 3058
イシカワ ノボル
石川 登



横浜北支部
登録番号 3054
タジマ キエ
田島 貴英



横浜東支部
登録番号 3059
クワハラ ゲンキ
栗原 元気



横浜中支部
登録番号 3055
オガヤ ノリヒコ
尾栢 紀洋



横浜東支部
登録番号 3060
トキワ ヨシヒコ
常盤 悦弘



県央支部
登録番号 3056
ナンバ タツロウ
難波 達郎



相模原支部
登録番号 3061
タヤマ カオリ
田山 薫



相模原支部
登録番号 3057
ウチハラ イサオ
内原 功



横浜北支部
登録番号 3062
ヨシカワ マサヒコ
吉川 真弘



相模原支部
登録番号 3063
クロサワ タカオ
黒澤 孝夫



横須賀支部
登録番号 3069
カワイ カズヨシ
河合 一義



県央支部
登録番号 3064
ナガヤマ キヨノリ
長山 聖典



横浜北支部
登録番号 3070
ワタナベ トシユキ
渡邊 俊之



横浜中支部
登録番号 3065
オカモト ヒトシ
岡本 仁



横浜中支部
登録番号 3071
サイトウ トモコ
齋藤 友子



川崎支部
登録番号 3066
ミヤモト マサノブ
宮本 真信



川崎支部
登録番号 3072
コイズミ ヒロキ
小泉 弘樹



横浜中支部
登録番号 3067
タカハシ カズユキ
高橋 一之



横浜東支部
登録番号 3073
カネコ アキラ
金子 顕



大和支部
登録番号 3068
ウエスギ ゴウジ
上杉 剛治



横浜南支部
登録番号 3074
ハタケヤマ ツカサ
畠山 主

退会会員一覧 (H28.12.15 退会～)

横浜東支部	1869	西野	義孝	H28.12.05 死亡退会
横須賀支部	2805	秋山	昭利	H28.12.20 業務廃止
県央支部	2042	相原	信行	H28.12.21 業務廃止
湘南第二支部	2901	御獄	和繁	H28.12.21 一時休業
横浜東支部	2089	鈴木	具勇	H28.12.26 業務廃止
横浜中支部	1784	植木	秀樹	H28.12.28 業務廃止
県西支部	1605	井上	岩好	H28.12.28 一時休業
横浜東支部	2864	長尾	知樹	H29.01.10 転出 (香川会)
県央支部	1994	笹生	孝雄	H29.01.16 業務廃止
大和支部	2869	逆井	健自	H29.01.31 業務廃止
相模原支部	2081	彦野	宏生	H29.01.31 業務廃止
横浜東支部	448	平居	章	H29.02.07 業務廃止
相模原支部	2215	安藤	文雄	H29.02.17 業務廃止
横浜南支部	2938	関谷	龍麒	H29.02.22 業務廃止
湘南第一支部	2828	森	忠雄	H29.02.27 業務廃止
横浜北支部	1776	岡崎	由郎	H29.02.28 業務廃止
横須賀支部	2381	木村	正己	H29.02.28 一時休業
横浜北支部	2046	齊藤	光男	H29.03.07 業務廃止
川崎支部	2987	佐藤	信久	H29.03.10 転出 (東京会)
湘南第一支部	1947	石井	晨	H29.03.30 業務廃止
横浜中支部	2401	飯野	誠人	H29.03.31 一時休業
横浜南支部	2647	恒石	和彦	H29.03.31 業務廃止
横浜南支部	2164	内田	末治	H29.03.31 業務廃止
大和支部	1938	新井	博	H29.03.31 業務廃止
横浜北支部	2939	荒井	満	H29.03.31 業務廃止
横浜北支部	3025	原野	敦士	H29.04.10 転出 (大阪会)
横浜北支部	2739	山田	彰吾	H29.04.28 一時休業
横浜北支部	1632	中村	隆	H29.04.30 業務廃止
川崎支部	38	白石	晴紓	H29.05.03 死亡退会
県西支部	2834	和田	英明	H29.06.29 業務廃止
横浜北支部	1680	椎橋	浩	H29.07.07 業務廃止

編 集 後 記

暑い総会から、2ヶ月が過ぎようとしております。総会の熱さがそのまま続き暑い日々が続いております。

暑い夏で思い出すのは、横浜高校松坂投手が甲子園を沸かしていたときに、私は胆嚢切除で入院をしておりました。腹腔鏡手術のはずが、肝臓に付着しており、結局は開腹手術になりました。それから、心臓の入院検査を受けたところ異型狭心症と診断され、泌尿器の検査を受ければ、ステージに上がる前の腎臓癌であることが判明し、早期でありましたが、結局は左腎臓切除をいたしました。

先日、妻と一緒に個人番号カードを受け取り、カードの臓器提供承諾の欄の記載について相談したところ、「あなたに、人に自信を持って提供できる臓器はないでしょ。」悲しいですが納得して、署名はしておりません。まだまだ、暑い日が続きます、皆様くれぐれもご自愛ください。

(成田哲雄)

例年に比べ、かなり体力的に大変な6～7月を送っています。なんで?と思われるでしょうが、6月より新執行部になり広報部長を拝命し、会務が忙しくなったから…だけではありま

せん。その事にプラスして例年通り、神輿に囃子にと顔を出しているからです。はい。自分がいけないのです(笑)。7月の1ヶ月間は地元、湯河原の祭りが8月頭にあるため、地元の子供たちに囃子を教えています。練習は毎週日曜日だけ休みでほぼ毎日です。そして、7月後半から8月頭にかけての自分の予定表を見ると、祭り、会務、祭り、会務、祭り、祭り、祭り…。1週間まるまる3人の子供を妻にまかせっきり。しかも、私事で大変恐縮ですが、4人目がお腹にいる身重な身です。毎年のことなので妻はなにも言いませんが、無理をさせてはいけないと感じているので、今年は祖父母に幾分、子供たちの面倒をみてもらおうと密かに悪巧み中です。8月2日は湯河原やっさ祭り、3日は海上花火大会です。興味のある方は是非、お越しください。ってこれを読者が見ている時には終わってますね(笑)。来年も同じ日にちなんで興味のある方は是非、覚えておいてください。

(小田 靖)

政治連盟では5月末から8月初旬にかけて、県および各市の議員団のみなさまに対して「予算要望ヒアリング」に参加して土地家屋調査士として様々な要望を出させていただいております。毎年要望書を提出する市町村を増やしております。今年のはべ14の議員団に要望書の提出およびプレゼンテーションを行いました。そのなかで、神奈川県土地家屋調査士会と神奈

川県、33市町村と締結する「災害協定」には特に強い関心を持っていただき活発な意見交換をすることができました。数年前までの土地家屋調査士をどのように読むのかもわからない人だらけの状態はまったくなくなりましたが、まだまだわれわれの業務内容や「現場力」に関してのご理解がより一層深まるように頑張ります。

(上田尚彦)

朝型の私にとってこの季節は日の出が早くとても助かります。

4時台には起きてまずやることは、飼っているうずらの世話です。か細い足をバタバタさせ、ピチュピチュ鳴いて大好物のレタスを欲しがります。

次に金魚の餌やりや水替えです。先日、水槽内が急に白濁したのであわてて水替えをしました。そしたら次の日にメスの金魚が産卵をしてビックリ！白濁の理由はオスの放精でした。結局1匹も孵化しませんでした。

その次はイシガメに餌をやり、そしてハムス

ター2匹の世話をして最後にクワガタの状態のチェックをします。

これらは全て子供達が欲しがったものですが、やはり世話は大人の役割になってしまいますね。

(平田 義昭)

この度大和支部から支部推薦理事として広報部でお世話になる中川淳と申します。2年間よろしく申し上げます。先日海老名市民まつりがあり大和支部では広報活動としてガラポンを行いました。特等が5千円分の映画観賞券、1等がタオル、2等が調査士団扇です。私は初めて知りましたが特等の玉は他よりも若干重く出にくいようになっていきます。皆さんご存知でしたか？しかもこのガラポンは新井式回転抽選器という本格的なもので大和支部の市川東さんから貸与していただきました。しかし市川さん、こんなものまでお持ちとは正直驚きました！

(中川 淳)

広報担当副会長	成 田 哲 雄	
広 報 部 長	小 田 靖	
広 報 部 次 長	上 田 尚 彦	
広 報 部 理 事	平 田 義 昭	
広 報 部 理 事	中 川 淳	
支 部 広 報 員	川 又 康 司	矢 野 貴 之
	小 林 雅 裕	小 田 島 薫
	餅 田 慎 治	露 木 文 子
	江 尻 正 人	門 田 哲 生
	太 田 雅 人	青 木 一 高
	松 田 栄 作	
	村 澤 玄 吾	

発 行 神奈川県土地家屋調査士会
横浜市西区楠町18番地
TEL (045)312-1177(代)
FAX (045)312-1277
E-mail
info@kanagawa-chousashi.or.jp

発行者 神奈川県土地家屋調査士会
会 長 鈴木 貴 志

印刷所 株式会社コンパス
厚木市森の里青山14-1
TEL (046)250-1005